

令和4年度

弟子屈町の教育



— 弟子屈町教育委員会 —

— 目 次 —

1.	弟子屈町民憲章	1
2.	地名の由来	1
3.	弟子屈町の地勢	1
4.	弟子屈町教育目標	2
5.	弟子屈町教育施設の沿革	3～5
6.	弟子屈町教育委員会委員構成	6
7.	弟子屈町教育委員会事務局構成	7
8.	令和4年度教育行政執行方針	8～10
9.	学校教育施設	11～15
10.	社会教育施設	16～23
11.	教育予算	24～28
12.	児童生徒数の推移	29
13.	文化財	30
14.	審議会等	31
15.	教育関係機関団体	31
16.	主な団体構成	32
17.	弟子屈町教育の特徴	33
18.	教育関係施設位置図	34～35

1. 弟子屈町民憲章

弟子屈町民憲章（昭和51年7月20日制定）

前文

わたしたちは、美しい摩周湖と、すばらしい大自然のなかに輝かしい未来を見つめる弟子屈の町民です。

わたしたちは、祖先の築いた開拓の偉業をうけつぎ、責任と誇りをもって、明るく住みよい郷土を建設するために、この憲章を定めます。

本文

- 1 元気で働き、産業を高め、豊かなまちをつくりましょう。
- 2 きまりを守り、明るく楽しいまちをつくりましょう。
- 3 すぐれた自然を大切に、美しい観光のまちをつくりましょう。
- 4 たがいになかよくたすけ合い、しあわせなまちをつくりましょう。
- 5 みんなで学び、文化の香り高い平和なまちをつくりましょう。

2. 地名の由来

アイヌ語の岩盤という意味「テシカ」と土という意の「ガ」から成り立つ。「岩盤の上」という語源は、その昔アイヌの人たちが釧路川で魚を採集していた時、現在の市街地付近の川床には岩盤が多くて魚網を仕掛けるための杭を打ち込むことが出来ない、「岩盤の上だ！」と嘆いたことに由来すると言われる。また他説では、「テシ」の意味は築（やな＝河川で魚を捕るための仕掛け）であるが、地名に残るテシは、天然の築のような姿の岩盤とある。

いずれも岩盤の上、築のような岩盤の上という所を表わすアイヌ語が町名となったようだ。

3. 弟子屈町の地勢

- ・位置 東経144度13分～36分
北緯43度23分～42分の地点
- ・広さ 東西28.8km、南北31.0km、面積774.33km²
- ・地勢 千島火山帯に属する本町は、世界有数の規模を誇る屈斜路カルデラと、その東側の摩周カルデラの山麓を含み、その中央を屈斜路湖から発した釧路川が貫き、火山活動によって生じる原始的景観、温泉などに恵まれた風光明媚な土地柄は、まさに国立公園の名に恥じない地域である。地勢はおおむね起伏の多い波状丘陵地であって平坦な土地は少ないが、山林が約70%を占めるため、森と湖と火山の絶妙な景観を醸し出している。
- ・地目面積 国有地湖沼等521.28km²[67.32%]、畑92.84km²[11.99%]、山地62.78km²[8.11%]、原野53.49km²[6.90%]、牧場31.74km²[4.10%]、雑種地7.11km²[0.92%]、宅地5.09km²[0.66%]
- ・阿寒摩周国立公園面積[環境省]（昭和9年12月指定、平成29年8月8日名称変更）
特別地域72,863ha（うち弟子屈町37,986ha[52.1%]）
特別保護地区 10,460ha（3,859ha[36.9%]）
第1種 20,718ha（12,996ha[62.7%]）
第2種 24,299ha（9,693ha[39.9%]）
第3種 17,386ha（11,438ha[65.8%]）
普通地域18,550ha（内弟子屈町12,754ha[68.8%]）
合計91,413ha（内弟子屈町50,740ha[56.0%]）
- ・湖沼[令和3年版理科年表]
摩周湖 周囲20km・面積19.2km²・深さ211.4m・透明度28.0m
屈斜路湖 周囲57km・面積79.5km²・深さ117.5m・透明度6.0m
- ・気象[気象庁ホームページ]（川湯及び弟子屈の極値・統計期間1977年～2021年）
日最高気温値＝川湯+36.0℃（2019年5/26）・弟子屈+35.7℃（2019年5/26）
日最低気温値＝川湯-34.0℃（1978年2/25）・弟子屈-26.7℃（2019年2/9）
日降水最多値＝川湯140mm（1992年9/11）・弟子屈152mm（1992年9/11）

4. 弟子屈町の教育目標（弟子屈町教育のめざす姿）

学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育む

- 体力を増進し、心身ともに健康で豊かな生活を築く人
- 郷土を愛し、進んでふるさとの文化を創る人
- 自然と調和した活力と潤いにあふれた郷土づくりにつとめる人
- 働くことに誇りをもち、よりよい家庭や社会の建設につとめる人
- 生涯にわたって自ら学びつづける人

○5つの教育目標（町民の望ましい姿・教育目標の内容）

1 体力を増進し、心身ともに健康で豊かな生活を築く人	
[町民の望ましい姿] ○適度なスポーツを楽しむ生活 ○規則正しい生活 ○対話がある家庭 ○余暇を利用した家庭生活 ○地域ぐるみの子育ての推進	[教育目標の内容] ・生命を尊重し、自発的な健康づくりを推進する ・家族が協力して明るい家庭づくりに努める ・地域ぐるみで心豊かに、たくましく生きる人を育む
2 郷土を愛し、進んでふるさとの文化を創る人	
[町民の望ましい姿] ○郷土文化を基底した郷土愛 ○郷土の文化、伝統などの積極的伝承 ○情操豊かな潤いのある文化生活 ○積極的な文化活動の日常化	[教育目標の内容] ・郷土の輝かしい伝統や美しい自然を通して、郷土愛を育み、進んで郷土文化の創造に努める ・地域社会と学校が連携し、郷土の文化、伝統、歴史などの伝承に積極的に努める ・進んで芸術・文化に親しみ、情操豊かな潤いのある生活の構築に努める
3 自然と調和した活力と潤いにあふれた郷土づくりにつとめる人	
[町民の望ましい姿] ○地域の特性を活かした産業振興 ○豊かな自然、地域資源の有効活用 ○豊かな自然環境の保全 ○自然と人間との共生	[教育目標の内容] ・豊かな自然地域資源を有効に活用し、活力と潤いにあふれた地域産業の振興につとめる ・豊かな自然環境の保全と自然資源開発、地域資源活用等との調和に努める
4 働くことに誇りをもち、よりよい家庭や社会の建設につとめる人	
[町民の望ましい姿] ○仕事に対する誇り ○勤労意欲と感謝 ○明るい円満な家庭 ○地域活動への参加 ○連帯感にあふれる社会づくり ○豊かな町づくりに貢献	[教育目標の内容] ・仕事に誇りと意欲を持ち、活力ある豊かな町づくりに貢献する ・親子の絆を深め、教育の原点である明るい円満な家庭づくりに努める ・地域社会の連帯感を深め、互いに支え合い、豊かで幸福な生活を営む者枚の実現に努める
5 生涯にわたって自ら学びつづける人	
[町民の望ましい姿] ○余暇の善用 ○学習機会の積極的な活用 ○主体的に学ぶ生活 ○地域人材の有効活用	[教育目標の内容] ・いつでも、どこでも、だれでも自由に学習機会を選択して学べることを目指す生涯学習社会の実現に努める ・地域社会が一体となった学習活動の展開に努める ・目的意識を持ち、主体的に学ぶ教育の推進に努める

5. 弟子屈町教育施設等の沿革

年	主な沿革
明治33(1900)年	弟子屈簡易教育所開設(児童数37名)
明治36(1903)年	弟子屈外1村戸長役場開設
明治37(1904)年	弟子屈尋常小学校開設・奥春別教授場開設
明治39(1906)年	屈斜路簡易教育所開設・奥春別簡易教育所開設
大正元(1912)年	美留和簡易教育所開設
大正3(1914)年	美留和簡易教育所が美留和尋常小学校に昇格・尾札部簡易教育所開設
大正4(1915)年	尾札部簡易教育所が尾札部尋常小学校に昇格
大正5(1916)年	屈斜路簡易教育所が屈斜路尋常小学校に昇格
大正8(1919)年	弟子屈尋常小学校所属熊牛原野特別教授場開設・弟子屈尋常小学校所属奥春別特別教授場開設
大正10(1921)年	屈斜路尋常小学校札友内特別教授場開設
大正12(1923)年	北海道2級町村制施行、弟子屈村と称す
昭和2(1927)年	屈斜路尋常小学校川湯特別教授場開設
昭和4(1929)年	熊牛原野特別教授場が昭栄尋常小学校に昇格
昭和5(1930)年	札友内特別教授場が札友内尋常小学校に昇格・奥春別特別教授場が奥春別尋常小学校に昇格・川湯特別教授場が川湯尋常小学校に昇格
昭和7(1932)年	尾札部・屈斜路両尋常小学校を合併し和琴尋常小学校開設・弟子屈尋常小学校所属仁多特別教授場開設
昭和8(1933)年	和琴尋常高等小学校開校・川湯尋常高等小学校開校
昭和9(1934)年	仁多特別教授場が仁多尋常小学校に昇格
昭和13(1938)年	弟子屈尋常小学校所属東仁多特別教授場開設
昭和15(1940)年	弟子屈尋常小学校所属最栄利別特別教授場開設
昭和16(1941)年	美留和尋常小学校を美留和国民学校に改称
昭和18(1943)年	北海道1級町村制施行・美留和国民学校開校
昭和22(1947)年	各小学校村立から町立開校・和琴中学校開校・弟子屈中学校開校・川湯中学校設置
昭和23(1948)年	標茶農業高等学校弟子屈分校として定時制高等学校設置
昭和24(1949)年	川湯駅前小学校が川湯小学校の分校として開校・国設美羅尾スキー場開設
昭和25(1950)年	町営川湯ヌプリスキー場開設
昭和26(1951)年	町立北海道弟子屈高等学校として独立・和琴ミンミンゼミ国の天然記念物指定
昭和27(1952)年	町立北海道弟子屈高等学校の川湯分教室を川湯中に開設
昭和29(1954)年	弟子屈小学校から最栄利別校が分離し最栄利別小学校開校
昭和31(1956)年	和琴博物館開館・第3種公認町営陸上競技場完成・美留和第2小学校開校
昭和34(1959)年	町営球場完成
昭和37(1962)年	弟子屈高等学校全日制課程開設定時制昼間家庭科新設・弟子屈青年の家設置(弟子屈町ほか8町村)・町営水上競技場完成
昭和39(1964)年	北海道立弟子屈高等学校設置
昭和40(1965)年	弟子屈高等学校家政科廃止
昭和41(1966)年	弟子屈町公民館完成開館
昭和43(1968)年	弟子屈中学校増築落成
昭和44(1969)年	和琴小学校校舎改築完成・町営スケートリンク開設(下当別・子供の広場)
昭和45(1970)年	弟子屈小学校増築落成
昭和46(1971)年	和琴中学校増築落成・最栄利別小学校閉校(弟小に統合)・弟子屈高等学校の商業科廃止
昭和47(1972)年	札友内小学校閉校(弟小に統合)
昭和48(1973)年	弟子屈町学校給食センター操業開始・弟子屈町青少年会館落成・玉川大学農学部屈斜路実習農場設置
昭和49(1974)年	川湯小学校増築落成
昭和51(1976)年	弟子屈町役場全焼で弟子屈町公民館が役場代替施設・川湯小学校開校50周年記念式
昭和52(1977)年	更科源蔵文学碑建立除幕・木下春影句碑除幕・弟子屈小学校普通教室増築(2教室2階建)・川湯駅前小学校開校30周年記念式
昭和53(1978)年	弟子屈中学校開校30周年記念式
昭和54(1979)年	奥春別小学校特別教室増築(音楽室・美術室)・昭栄小学校開校60周年記念式

年	主な沿革
昭和55(1980)年	町民テニスコート落成・学校開放事業開始・永山在兼氏の顕彰碑除幕式・弟子屈小学校体育館増築及び改修完成・弟子屈小学校開校80周年記念式・昭栄小プール設置
昭和56(1981)年	川湯屋内温水プール落成・北海道立弟子屈高等学校開校30周年記念式
昭和57(1982)年	屈斜路コタンアイヌ民俗資料館落成・和琴小学校開校50周年記念式及び開校之碑建立・美留和小学校開校70周年記念式
昭和59(1984)年	弟子屈中学校校舎床土閣改修完成・奥春別小学校屋内体育館増改築落成・奥春別小学校80周年記念式典・弟子屈高等学校定時制課程募集停止
昭和60(1985)年	釧路圏摩周観光文化センター及び摩周運動公園落成
昭和61(1986)年	和琴中学校閉校(弟中に統合)・和琴中学校舎を和琴小学校に転用・国設美羅尾スキー場が民営化・和琴小学校体育館完成落成記念式
昭和62(1987)年	昭栄小学校改築落成・弟子屈高校定時制課程閉課・川湯小学校開校60周年記念式・川湯駅前小学校開校40周年記念式
昭和63(1988)年	北海道立弟子屈高等学校全面改築落成・昭栄小学校開校70周年記念式・美留和小学校校舎体育館完成・弟子屈町図書館開館・美留和小学校校舎・体育館落成式
平成元(1989)年	管理課に学校教育指導室設置(金行功初代室長)・美留和小学校全面改築落成・川湯屋内ゲートボール場落成
平成2(1990)年	弟子屈小学校開校90周年記念式・町文化協会創立50周年記念式・仁多小学校開校60周年記念式・町民テニスコート完成
平成3(1991)年	川湯駅前小学校閉校・更科源蔵原野樹記念碑建立
平成4(1992)年	川湯中学校全面改築落成及び開校45周年記念式・摩周ヶ丘パークゴルフ完成・町営スピードスケート場完成
平成5(1993)年	奥春別小学校校舎大規模改修完成・当別河川敷パークゴルフ場完成
平成6(1994)年	仁多小学校閉校・奥春別小学校開校90周年記念式・川湯温泉パークゴルフ場完成
平成7(1995)年	弟子屈中学校校舎大改修完成・弟子屈町図書館移転(NTT施設)
平成8(1996)年	川湯小学校全面改築落成及び開校70周年記念式・泉パークゴルフ場完成・泉ソフトボール場完成・学校法人弟子屈学園立正館幼稚園設立・学校法人弟子屈学校法人弟子屈学園立正館幼稚園を摩周丘幼稚園に改名
平成9(1997)年	川湯中学校開校50周年記式・弟子屈中学校開校50周年記念式
平成10(1998)年	弟子屈高等学校開校50周年記念式・和琴小学校トイレ簡易水洗化工事完成
平成11(1999)年	弟子屈小学校校舎及び屋体完成
平成12(2000)年	弟子屈小学校新グラウンド完成・弟子屈小学校校舎体育館落成及び開校100周年記念式
平成14(2002)年	美留和小学校開90周年記念式・和琴小学校開校70周年記念式
平成15(2003)年	行政改革で町営弟子屈プール休止・弟子屈町100周年記念・屈斜路湖マリゴケ個体簡易調査実施・川湯小学校のハルニレ北海道の保護樹木に指定
平成16(2004)年	奥春別小学校開校100周年記念式
平成18(2006)年	道教委「新しい高校教育に関する指針(素案)」に対する弟子屈高校存続に向けた要請行動を町及び町議等で実施・同存続町民署名5,145名を道教委に提出
平成19(2007)年	弟子屈町郷土資料収蔵庫「てしかがの蔵」事務所開設・更科源蔵顕彰碑「原野の樹」移転除幕式・更科源蔵文学資料館開館(釧路圏摩周観光文化センター)
平成20(2008)年	川湯屋内温水プールアスベスト除去工事で一時休館・ピラオスキー場閉鎖
平成21(2009)年	自動体外式除細動器配置・教師用パソコン・教育用パソコン・電子黒板・校用備品各種・川湯中学校屋根改修防水工事・生涯学習バス新規導入・学校給食センター各種備品購入
平成22(2010)年	公民館役場庁舎福祉センター耐震化改修・弟子屈中学校特設テニスコート設置・弟子屈中学校外構等工事・弟子屈中学校太陽光発電施設工事・鎌田ケイ子社会教育委員全国社会教育委員連合会表彰受賞
平成23(2011)年	小中学校図書大量購入・てしかがの蔵改修・図書館クラウド方式システム更新・文学資料館展示用備品購入・図書館図書大量購入・学校給食センター配送車1台購入・弟子屈中学校新校舎体育館落成記念式典祝賀会・新学校給食センター完成
平成24(2012)年	ALT2人配置・図書館電子システム更新・弟子屈町青少年会館外壁改修工事・川湯屋内温水プール妻壁面補修工事・公民館トイレ改修工事・美留和小学校開校100周年記念式典
平成25(2013)年	奥春別小学校耐震化非構造部材工事・和琴小学校耐震化非構造部材工事・スクールバス1台導入(更新/マイクロバス)・自治会及びPTAから昭栄小学校閉校要望・郷土学習副読本人物編「大鵬物語」発刊
平成26(2014)年	昭栄小学校閉校式開催(11月)・第1回公民館まつり及びミニコンサート開催・土曜授業和琴小学校で開始・「弟子屈町教育振興計画」樹立・消費税3%値上げに伴う学校給食費の値上げ・栄養教諭制度導入・川湯屋内温水プールトップライト改修工事

年	主な沿革
平成27(2015)年	昭栄小学校閉校(弟小に統合)・町内4か所チャン国史跡指定(パイラクニチャン跡クッチャノシペ第1・第2チャン跡ウランコウシチャン跡)・「弟子屈町公民館」優良公民館文部科学大臣表彰受賞・「絵本の会 おはなしはらっぱ」子ども読書活動実践団体文部科学大臣表彰受賞・美留和小学校校長住宅新築・中学校生徒及び教師用パソコン更新・川湯屋内温水プール槽床シート張替工事・総合教育会議開催・「教育大綱」樹立・スクールバス新規導入・弟子屈町いじめ防止基本方針の策定
平成28(2016)年	弟子屈町公民館開館50周年及び記念事業・弟子屈高校1年生1間口・小学校児童及び教師用パソコン更新・弟子屈中学校体育館吊り天井撤去耐震化工事・川湯小学校教頭住宅新築工事・辻谷幸代社会教育委員全国社会教育委員連合会表彰受賞
平成29(2017)年	弟子屈小学校体育館屋上防水改修工事・和琴小学校煙突アスベスト除去及びライニング再生工事・川湯中学校普通教室窓改修工事・イングリッシュキャンプ事業を初めて実施・弟子屈高校1年生2間口復活・町外通学者支援事業の制定
平成30(2018)年	瀧昌之元教育委員長叙勲受章・小澤重前教育委員長地方教育行政功労者表彰受賞・教育委員会会議録のホームページ公表開始・川湯小学校と川湯中学校とで町内初の合同学校運営協議会設置・弟子屈小学校校舎屋上塔屋防水改修工事・北海道150年事業子どもたちの交流事業参加(道事業 派遣:三重県松阪市へ児童4名、引率1名)・松阪市弟子屈町小学生交流事業実施(町事業 受入:三重県松阪市小野江小児童2名、引率3名 派遣:町内小学校児童7名、引率3名)・カワユエンレイソウ学術調査実施・第1回屈斜路湖オープンウォータースイミング大会開催・桜丘森林公園クロスカントリーコース造成・川湯屋内ゲートボール場廃止・町民テニス場廃止・青少年会館廃止・川湯屋内温水プールトップライトシーリング改修工事・川湯屋内温水プール監視歩廊スラブ剥離処理ほか工事
平成31・令和元(2019)年	弟子屈小学校及び川湯小学校への放課後児童クラブ移転・弟子屈高校生を対象にした夏季・冬季長期休業期間の公営塾を開設・第2回屈斜路湖オープンウォータースイミング大会・三重県松阪市松浦武二郎記念館山本命学芸員による小学校社会科特別授業及び松浦武二郎講演会・第70回北海道女性大会兼釧路管内女性大会・北海道教育大学釧路校交響吹奏楽部弟子屈公演・図書館30周年記念講演会・川湯屋内温水プール循環ろ過系統漏水改修工事
令和2(2020)年	新型コロナウイルス感染症による臨時休校・夏季休業期間の短縮・扇風機、空気清浄機等のコロナ対策学校備品購入・GIGAスクール構想による1人1台のタブレット端末導入・美留和小学校南面屋根防水塗装工事・奥春別小学校閉校式・小林俊夫前教育長地方教育行政功労者表彰受賞・新型コロナウイルス感染症による影響(社会教育事業、公民館事業の延期・中止、社会教育施設の臨時休館)・公民館分館制度廃止・屈斜路コタンアイヌ民族資料館名称変更・アイヌ政策推進交付金事業(資料館案内看板設置、多言語案内コード作成)・川湯温水プール地下燃料タンク改修工事・地域活動寺子屋交付金制度開始(公民館)・図書館男子トイレ改修工事
令和3(2021)年	奥春別小学校閉校(弟小に統合)・学校給食費保護者負担補助により無償化・美留和小学校で特認校制度開始・新型コロナウイルス感染症による影響(社会教育事業、公民館事業の延期・中止、社会教育施設の臨時休館)・弟子屈町郷土資料館「蔵」開設(更科源蔵文学資料館併設)・公民館女子トイレ改修工事・町文化財屈斜路湖マリゴケ植生調査実施(玉川大学と共同調査)・弟子屈町文化奨励賞授賞(江口佑子・木綿美キルトグループ)・町営野球場大規模改修工事・川湯屋内温水プールトップライトシート保護工事
令和4(2022)年	民法改正に伴い「成人式」から「二十歳のつどい」に改称し開催・弟子屈町地域学校協働本部設置(弟子屈町教育支援活動運営委員会後継組織)

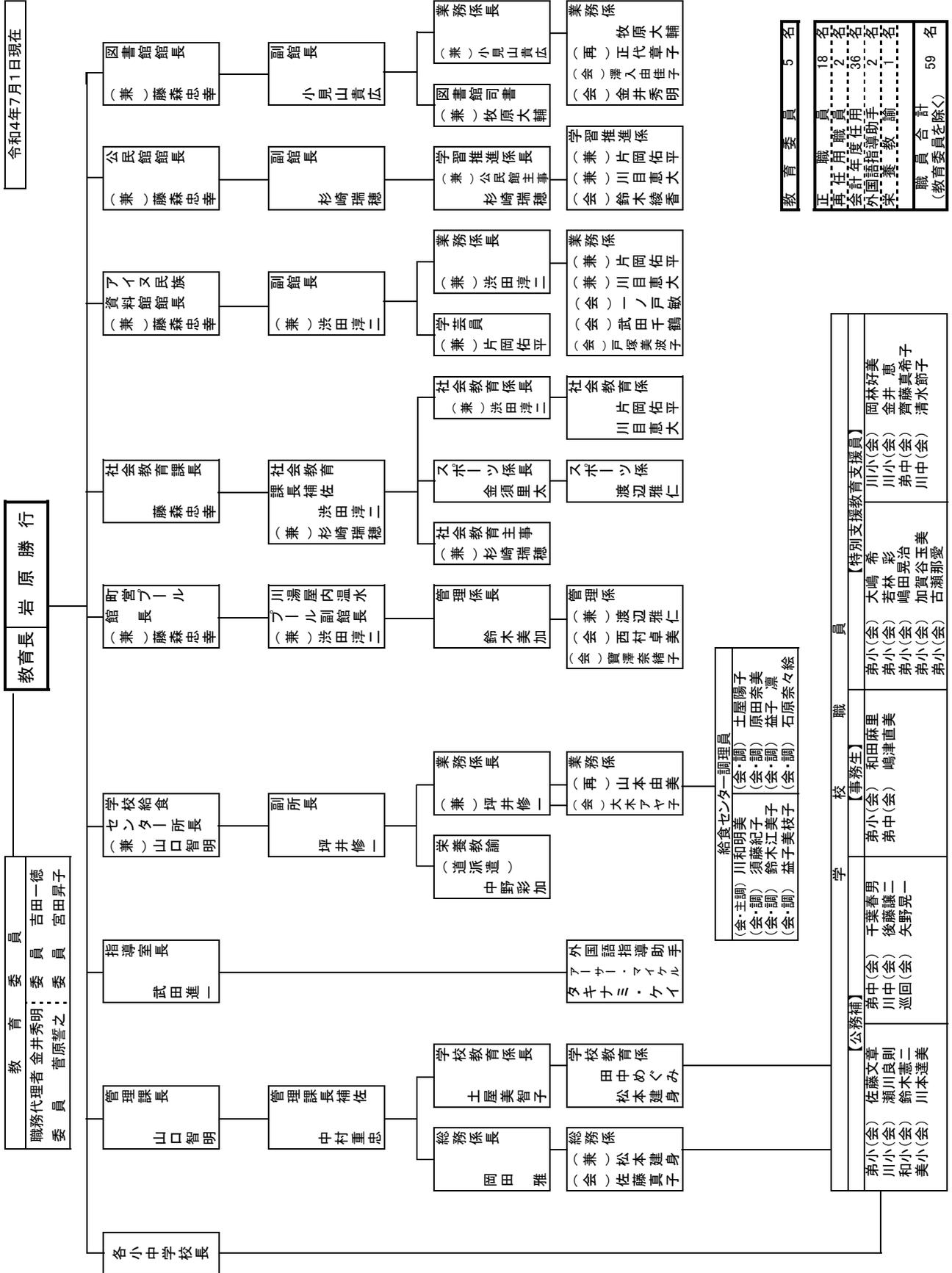
6. 弟子屈町教育委員会委員構成

役職名	氏名	性別	年齢	就任年月日	期数	現在の任期	職業	備考
教育長	岩原 勝行	男	63	令和 2年 2月 6日	1	令和 2年 2月 6日～令和 5年 2月 5日		
職務代理者	金井 秀明	男	65	平成26年10月 1日	2	平成30年10月 1日～令和 4年 9月30日	無 職	
委員	菅原 誓之	男	48	平成21年 8月 1日	4	令和 元年11月 1日～令和 5年10月31日	僧 侶	
委員	吉田 一徳	男	44	平成29年12月17日	2	令和 3年12月17日～令和 7年12月16日	農 業	
委員	宮田 昇子	女	49	令和 2年10月12日	1	令和 2年10月12日～令和 6年10月11日	無 職	

○歴代弟子屈町教育委員会教育委員 (参考資料～弟子屈町史各編等)

公選制	教育委員名	就任年月日	退任年月日	備考	教育委員名	就任年月日	退任年月日	備考
	根津 文男	昭和27年11月 1日	昭和30年 4月 8日	公選	筏井 欣一	昭和27年11月 1日	昭和30年 7月 1日	教育長
牧 藤一郎	昭和27年11月 1日	昭和31年 1月23日	公選	今泉 秀雄	昭和27年11月 1日	昭和30年11月 1日	議会	
上野卯八郎	昭和27年11月 1日	昭和31年 9月30日	公選	青木 料作	昭和28年 3月20日	昭和30年 4月30日	議会	
小森伝四郎	昭和27年11月 1日	昭和31年 9月30日	公選	根津 文男	昭和30年 5月12日	昭和31年 9月30日	議会	
青木 料作	昭和27年11月 1日	昭和31年 9月30日	(補欠)	木下 治郎	昭和30年 7月14日	昭和31年 9月30日	教育長	
任命制	柏 庄二	昭和31年10月 1日	昭和37年 1月 7日	※委員長	坪井 長治	平成 元年 2月14日	平成 9年 2月 5日	教育長
	瀧 久兵衛	昭和31年10月 1日	昭和34年 9月30日	※委員長	進士 美好	平成 2年10月 1日	平成 4年 4月30日	
	菅原 安子	昭和31年10月 1日	昭和41年 9月30日	※委員長	辻谷 幸代	平成 4年 7月 1日	平成 6年 9月30日	
	小森伝四郎	昭和31年10月 1日	昭和40年 9月30日	※委員長	上西 理道	平成 6年10月 1日	平成16年 5月31日	
	田上 秀一	昭和31年10月 1日	昭和43年 9月30日	教育長	山下 博之	平成 9年 2月 6日	平成17年 2月 5日	教育長
	根津 文男	昭和34年10月 1日	昭和43年 6月20日	※委員長	万代 重則	平成 9年10月 1日	平成11年10月30日	委員長
	稲田 実	昭和37年 1月 8日	昭和43年 9月30日	※委員長	小澤 重	平成 9年12月17日	平成16年 9月30日	
	並木 延郎	昭和40年10月 1日	昭和44年 9月30日	※委員長	小野 勝	平成11年11月 1日	平成21年 6月24日	
	後藤田 勉	昭和41年10月 1日	昭和50年 1月18日	※委員長	根津 文博	平成11年11月 1日	平成16年 9月30日	委員長
	長谷 實	昭和43年 6月22日	昭和46年 9月30日		藤原 将男	平成16年 6月17日	平成26年 9月30日	
	榎本 節郎	昭和43年10月 1日	昭和46年 1月26日	※委員長	小澤 重	平成16年10月 1日	平成29年12月16日	委員長
	錦織 俊介	昭和43年10月 1日	昭和47年 9月30日	教育長	榎本 悦子	平成16年10月12日	令和 2年10月11日	
	瀬野 清	昭和44年10月 1日	昭和48年 9月30日		小林 俊夫	平成17年 2月 6日	令和 2年 2月 5日	教育長
	和田 淳	昭和46年 3月20日	昭和54年 3月22日		菅原 誓之	平成21年 8月 1日	現在に至る	
	長谷 實	昭和46年10月 1日	昭和54年 9月30日	委員長	金井 秀明	平成26年10月 1日	現在に至る	
	坂井 斉	昭和47年12月21日	昭和51年12月20日	教育長	吉田 一徳	平成29年12月17日	現在に至る	
	瀧 昌之	昭和49年 7月 8日	昭和54年 9月30日		岩原 勝行	令和 2年 2月 6日	現在に至る	教育長
	富本 博	昭和50年 7月 1日	平成 2年 9月30日		宮田 昇子	令和 2年10月12日	現在に至る	
	袴田 毅	昭和52年 1月28日	平成 元年 1月27日	教育長				
	田口 稔	昭和54年 5月14日	昭和59年10月11日		○「※委員長」は委員任期期間中内での就任			
	瀧 昌之	昭和54年10月 1日	平成 9年 9月30日	委員長				
	佐々木啓祐	昭和54年11月 1日	昭和56年 1月31日					
	万代 重則	昭和56年 3月17日	平成 9年 9月30日					
	根津 文博	昭和59年10月12日	平成11年10月31日					

7. 弟子屈町教育委員会事務局機構図



8. 令和4年度教育行政方針（項目別主要事項）

新型コロナウイルス感染症が、世界中で猛威を振り始めてから2年余りとなりました。わが国では、昨年の春からワクチン接種が始まり、夏には感染防止対策に万全を期した中で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、札幌市で行われたマラソンなど、私たちに多くの感動を与えてくれました。町内の教育現場では、運動会の規模縮小や修学旅行の日程変更などの影響はありましたが、徹底した感染予防対策を取り、概ね予定通りに学校活動を送ることができました。本年度におきましても、GIGAスクール構想で導入された1人1台のタブレットを活用した学習活動や、今後本格導入されるデジタル教科書など、「教育のデジタル化」へしっかり対応してまいります。コロナ禍で先行きが見通せない状況ですが、本町教育のめざす姿「学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育む」という基本理念のもと、子どもたちの学びの環境をしっかり保障し、全ての町民が心を豊かにできる生涯学習の環境づくりを推進してまいります。

I 弟子屈町教育の計画的な振興

- 1 第6次弟子屈町総合計画で示された「豊かな心を育て、文化を大切にする夢（まち）づくり」を基本目標とし、学校・家庭・地域の連携を強化。
- 2 第2次弟子屈町教育大綱兼第2次弟子屈町教育推進基本計画に基づく各種事務事業の着実な推進と点検・評価。
- 3 教育委員コラムの発行や教育長日記など、ホームページを活用した情報発信。
- 4 学校事業や社会教育事業の参観を通し、町民との対話を深めて、諸課題を解決。

II 学校教育の充実

- 1 「令和の日本型学校教育」の構築と新学習指導要領の着実な実施。
- 2 ICT活用との最適な組み合わせによる教育の実践と、釧路管内教育の重点項目の推進。
 - ① 信頼される学校づくりの推進
 - ・教育活動の成果をホームページや学校便りなどによる情報発信を促進。
 - ・コミュニティ・スクールと弟子屈町地域学校協働本部との連携を促進。
 - ② 学習指導の充実
 - ・全ての子どもたちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習指導の推進。
 - ・全国学力・学習状況調査、弟子屈町学力調査などによる子どもの学習状況の把握と、授業の改善。
 - ・弟子屈小・中学校における加配教員によるきめ細やかで丁寧な指導の実施。
 - ・学校図書館の充実やICTを活用した学習活動の推進。
 - ・「学習習慣」と「生活習慣」の課題改善に向け、学校と家庭・関係機関との連携を強化。
 - ・外国語指導助手2人の派遣継続と、外国語教員の充実に向けた取り組みの推進。
 - ③ 「豊かな心」を育む教育活動の充実
 - ・道徳教育の充実を図り、子どもたちの「豊かな心」の育成を推進。
 - ・弟子屈町いじめ防止基本方針に基づき、いじめ撲滅に向けた取組を推進。
 - ・スクールカウンセラーなどによる児童生徒の悩みや苦しみへの対応。
 - ・姉妹都市鹿児島県日置市との中学生交流訪問事業の実施。
 - ④ 社会の変化に対応する教育の推進
 - ・各学校での特色ある取り組みへの支援。
 - ・地域人材を活用する「ふるさと学習」の推進。
 - ・企業見学・職業体験活動・インターンシップを中核とした「キャリア教育」の充実。
 - ・玉川学園の協力による、イングリッシュ・キャンプの実施。
 - ・学校教員の「働き方改革」による時間外勤務の縮減。

④ 特別支援教育の充実

- ・個別の指導計画や支援計画に基づき、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の定期的開催。
- ・道立特別支援学校による「パートナーティーチャー派遣制度」などを活用した担当教員への支援。
- ・弟子屈町こども発達支援センターなどの関係機関との連携強化。
- ・特別支援教育支援員の1人増員と、支援体制の充実。

⑤ 健康や安全に関する指導の充実

- ・新型コロナウイルス感染症対策下での学びの保障。
- ・「新体力テスト」の実施と、「体力づくりのための1校1実践」の推進。
- ・学校危機管理マニュアルの見直しと「防災教室」「1日防災学校」などによる防災訓練の実施。
- ・小中高校生を対象とした命の大切さを学ぶ思春期講座の実施。
- ・「子どもサポート隊」や「子ども110番の家」「交通指導員」との協力による、子どもを見守る活動の推進。

⑥ 教員の資質向上

- ・町教育研究所における研修事業への参加促進。
- ・「教育のICT化」に対応した研修や各学校における自主公開研究会の継続開催。
- ・玉川大学との連携による教員の英語指導力向上。

⑦ 就学児童生徒保護者への支援

- ・全ての児童生徒に対する、学校給食の無償提供の継続実施。
- ・オンライン学習通信費など就学援助の実施。
- ・デジタル教育時代に対応した支援の実施と学用品費の保護者負担軽減の拡充。

⑧ 幼児教育の充実

- ・小学校生活科を中心とした「スタートカリキュラム」の充実、幼児教育と小学校教育の円滑な接続。
- ・認定こども園ましゅうへの外国語指導助手の派遣や入学前の就学指導など、関係機関との連携継続。

⑩ 高等学校教育支援などの充実

- ・進学を目指す生徒を対象とした「公営塾」の通年開設の継続。
- ・ふるさと学習「弟子屈探究」や弟子屈高校の伝統行事である「強歩遠足」などの支援の継続。
- ・新学指導要領に対応する生徒1人1台タブレット導入支援。
- ・姉妹都市鹿児島県日置市への修学旅行費用の助成。

⑪ 小中高等学校連携の促進

- ・「総合的な学習の時間」で扱う学習内容を小中高が連携継続して実施することへの支援。
- ・英語教育の体系化に向けた小中高等学校教員間の連携の推進。
- ・支援が必要な子どもたちへの適切な対応に向けた、幼保小中高の担当者間の連携推進。

⑫ 教育環境の整備・充実

- ・デジタル教科書導入を見据えた教員のスキルアップやサポート体制などの充実。
- ・美留和小学校体育館屋根の補修など教育環境の整備。
- ・教材や学校図書などの拡充による、ウィズコロナやデジタル化への的確な対応。

⑬ 学校給食の充実

- ・衛生・安全管理の徹底と調理技術などの向上。
- ・地場産品の積極的な活用の推進。
- ・季節ごとの旬の食材などを生かした献立や行事食の提供。
- ・栄養教諭の食育指導などによる食に対する理解と望ましい食習慣の育成。

Ⅲ 社会教育活動の推進

- 1 ウィズコロナ・アフターコロナにおける生涯学習の在り方を踏まえ、新たにスタートする「第8次弟子屈町社会教育中期計画」に基づき、地域教育力の向上を目指し、町民が相互の関わりの中で主体的に多種多様な学習活動のできる環境づくりに取り組んでまいります。

①生涯学習事業の充実と社会教育の振興

- ・「学びと活動の循環」を推進し、SDGsの視点を取り入れた「循環型生涯学習社会」の形成。
- ・地域と学校が連携して「学校を核とした地域づくり」を推進する「地域学校協働活動」を全町的に展開。
- ・弟子屈高等学校の生徒が教育委員会主催行事の運営支援を行う「地域貢献活動」への協力。
- ・人生100年時代を迎え、現役リタイア後の過ごし方が大変重要となり、「生きがい講座」の活動を通して、生涯にわたる学びの場を提供。

②公民館、図書館活動の充実

- ・多様な学習ニーズに対応すべく、地域の人材を積極的に活用し、様々な事業を実施。
- ・地域振興を促進するための関係期間、団体との連携事業や、若い世代の方々にも参加していただけるような事業など、幅広い学習プログラムを提供。
- ・公民館サークルや団体などの学習成果発表の場として、ミニコンサートやロビー展を開催。
- ・図書館の蔵書の充実と、インターネットによる各種サービスの推進、学校図書館との連携。
- ・読書活動講演会をはじめとする各種事業の実施や図書館ボランティア、読み聞かせサークルとの協働。
- ・「第3次弟子屈町子ども読書活動推進計画」に基づき、引き続き読書習慣の定着に向けた取組。

③芸術文化活動への支援と振興

- ・町内全児童生徒を対象とした芸術鑑賞事業や一般町民を対象とした2回の音楽鑑賞会、町総合文化祭芸能発表の春秋の開催など芸術文化を体験できる機会を提供。
- ・弟子屈町文化協会への活動に対し支援を行うとともに、文化振興助成制度による全道、全国大会参加への支援。
- ・郷土芸能である鑑別・仁多の獅子舞や川湯ばやしの保存伝承活動支援。

④文化財保護などの活動推進

- ・町指定天然記念物・屈斜路湖の「マリゴケ」の植生調査の継続。
- ・「屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業」によるアイヌ民族資料館の改修に係る詳細設計に向けた準備。
- ・アイヌ文化の普及啓発に係る「各種記念事業（アイヌ民族資料館開館40周年事業）」の実施。
- ・てしかがの蔵からの郷土資料移設を本年度中に完了。
- ・専門職員の配置を検討し、町内に点在する貴重な資料との有機的連携やSNSを利用した情報発信など多角的活用取組。

⑤スポーツ活動の推進

- ・弟子屈町スポーツ協会、文化・スポーツ少年団の活動支援及び各種スポーツ教室の開催や学校施設開放事業の継続。
- ・東京国際大学駅伝部などスポーツ合宿受け入れ・誘致活動への支援。
- ・スポーツ振興助成制度継続により全道・全国大会への出場を支援。
- ・日本水泳連盟認定「屈斜路湖オープンウォータースイミング大会」の開催。
- ・大規模改修を行った町営球場での古希道東地区選手権大会の開催。

⑥社会教育施設などの充実

- ・中心市街地再構築全体構想事業や屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業による社会教育施設の移転及び改修の推進。
- ・パークゴルフ場の管理用機械の更新。

長期化するコロナ禍や年々進行する少子高齢化・人口減少問題など、様々な問題が山積し、将来に希望を見出しづらい状況ではありますが、たとえどのような状況にあっても、町民みんなで子どもたちを育て、高齢者を守り、健康でいきいきと夢や希望を持って、充実した生活が送れるよう取り組んでまいります。

9. 学校教育施設（1）

弟子屈小学校

所在地 弟子屈町中央2丁目265番地1
 創立 明治33年7月1日
 校長名 大西 展史、教職員数20人

教育目標 新世紀に輝く弟子屈の子
 明るくたくましい子
 よく考える子
 心のやさしい子



学級数 普通6、特別支援6（知的・情緒3・言語・弱視）

児童数

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
普通	21	26	26	32	26	31	162
特別支援	5	6	4	3	2	6	26
計	26	32	30	35	28	37	188

校地面積 23,241 m²、校舎面積 4,612 m²、屋体面積 1,256 m²

川湯小学校

所在地 弟子屈町川湯温泉4丁目72番地1
 創立 昭和2年2月2日
 校長名 上中 義人、教職員数10人

教育目標 児童の創造性を開発し、自己を変革していける
 子どもを育てる
 ・意欲的で、実行力のある子どもを育成する
 ・自主性に富み、知性の高い子どもを育成する
 ・心身共に健康で、思いやりのある子どもを育成する
 ・責任感の強い、進んで働く子どもを育成する



学級数 普通4、特別支援2（情緒・知的）

児童数

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
普通	5	5	8	7	6	11	42
特別支援	1				1		2
計	6	5	8	7	7	11	44

校地面積 43,345 m²、校舎面積 1,601 m²、屋体面積 710 m²（渡り廊下含む）

学校教育施設（２）

和琴小学校

所在地 弟子屈町字屈斜路 2 6 0 番地 1
 創 立 昭和 7 年 6 月 2 2 日
 校長名 渥美 清孝、教職員数 7 人



教育目標 よく考え正しく判断のできる子 【知】
 強い心と体でやりぬく子 【体】
 優しい心で助け合う子 【徳】

学級数 普通 3、特別支援 1（情緒）

児童数

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
普 通	4	1	1		1	1	8
特別支援					1		1
計	4	1	1		2	1	9

校地面積 25,328 m²、校舎面積 1,064 m²、屋体面積 575 m²（渡り廊下含む）

美留和小学校

所在地 弟子屈町字美留和 8 2 番地 1
 創 立 大正元年 1 0 月 1 日
 校長名 佐藤 義行、教職員数 8 人



教育目標 よく考える子ども（学び）
 助け合う子ども（豊かな心）
 がんばりぬく子ども（強い心）
 進んで仕事をする子ども（意欲的な心）
 強い体の子ども

学級数 普通 3、特別支援 2（知的・情緒）

児童数

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
普 通		1	1	1	1	1	5
特別支援				1		2	3
計		1	1	2	1	3	8

校地面積 31,090 m²、校舎面積 749 m²、屋体面積 534 m²（渡り廊下含む）

学校教育施設（3）

弟子屈中学校

所在地 弟子屈町美里1丁目135番地2
 創立 昭和22年5月4日
 校長名 成瀬 剛慈、教職員数20人



教育目標 生活の向上に役立つ学力を身につけよう
 人と自然を思いやる心を持つ
 強い身体と正しい心で結びあおう

学級数 普通 5、特別支援 4（知的・情緒2・視覚）

生徒数

区分	1年	2年	3年	計
普通	28	43	41	112
特別支援	4	7	3	14
計	32	50	44	126

校地面積 46,029 m²、校舎面積 3,838 m²、屋体面積 1,093 m²

川湯中学校

所在地 弟子屈町川湯温泉7丁目74番地1
 創立 昭和22年5月20日
 校長名 藤田 崇充、教職員数12人



教育目標 自ら進んで学びに向かう人
 思いやりを持って協調できる人
 逞しい心身を持つ人

学級数 普通 3、特別支援 1（情緒）

生徒数

区分	1年	2年	3年	計
普通	2	11	5	18
特別支援		4		4
計	2	15	5	22

校地面積 41,826 m²、校舎面積 1,600 m²、屋体面積 742 m²（渡り廊下含む）

学校教育施設（４）

弟子屈町学校給食センター

所在地 弟子屈町美里 1 丁目 1 3 6 番地 1

施設概要 延床面積 755.62 m²（R C 構造） ※弟子屈中学校併設

給食供給能力 1 日当たり 800 食

雪氷冷熱システム採用（夏期間室内冷房用）

開 設 旧施設～昭和 47 年 12 月完成 昭和 48 年 1 月供用開始

現施設～平成 23 年 12 月完成 平成 24 年 4 月供用開始

給食供給先 町立小学校 4 校 町立中学校 2 校 （約 500 食）

年間給食費 小学校 44,850 円/人（1 食 230 円）、中学校 53,625 円/人（1 食 275 円）



北海道立高等学校・学校法人こども園

北海道弟子屈高等学校

所在地 弟子屈町高栄3丁目3番20号
 創立 昭和23年10月30日
 校長名 加藤 誠、教職員数16人

校訓 自彊不息（じきょうしてやまず）
 教育目標 郷土を愛したくましく生きよう
 自ら学ぶ意欲を持ちつづけよう



学級数 普通 3

生徒数

区分	1年	2年	3年	計
普通	22	24	26	72
特別支援				
計	22	24	26	72

校地面積 41,465 m²、校舎面積 1,802 m²、屋体面積 891 m²

学校法人弟子屈学園

幼保連携型認定こども園ましゅう

所在地 弟子屈町泉1丁目11番1号
 創立 平成31年4月1日
 園長名 鈴木 幸栄、教職員数29人（園長含む）
 園目標 (1)げんきで じょうぶな たくましい子
 (2)やさしく ゆたかな ころもつ子
 (3)さいごまで やりぬく ねばりづよい子



学級数 6学級

園児数

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
園児	5	10	14	28	32	17	106

園地面積 5,609.49 m²、延床面積 1,128.06 m²

10. 社会教育施設（1）

弟子屈町公民館

所在地 弟子屈町中央2丁目286番地1

開館 昭和41年10月19日

施設概要 建物延面積 908.36 m²

1階 事務室・研修室・会議室・和室

2階 講堂

主要事業等 硫黄山トレッキングツアー

芸術鑑賞「ホラネロコンサート」

町民大学校 生きがい講座



利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	18,286 人	14,297 人	11,398 人

[弟子屈町図書館]

所在地 弟子屈町中央2丁目290番地

※敷地と建物はNTT 東日本から借用

開館 平成元年4月1日

(移転：平成7年3月1日)

施設概要 建物延面積 407.50 m²

図書館バス運行1台

主要大会等 読書活動講演会



利用実績等	R 1	R 2	R 3
一般図書・児童図書 蔵書数	61,880 冊	58,164 冊	56,750 冊
貸出冊数	35,279 冊	30,861 冊	31,976 冊
うち図書館バス	5,808 冊	2,861 冊	2,882 冊
登録者数	5,326 人	5,395 人	4,960 人

社会教育施設（2）

[屈斜路コタンアイヌ民族資料館]

所在地 弟子屈町字屈斜路市街1条通14番地

開館 昭和57年6月6日

施設概要 建物延面積 402.47 m²
アイヌ民族資料展示・映像紹介等
常設展示 450点



主要事業等 資料館講座

利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	7,609人	3,159人	2,582人

[更科源藏文学資料館]

所在地 弟子屈町摩周3丁目867番地1
釧路圏摩周観光文化センター内

開設 平成19年4月1日

施設概要 延床面積 330.2 m²
更科源藏文学資料展示
収蔵資料 6,140点
(図書 1,824点、その他 4,316点)



利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	702人	265人	402人

社会教育施設（3）

[弟子屈町修武館]

所在地 弟子屈町高栄2丁目123番地4

開設 昭和53年11月14日

施設概要 建物延床面積 519.40 m²
柔道・剣道・空手



利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	3,374 人	2,004 人	1,307 人

[弟子屈郷土資料館「蔵」]

所在地 弟子屈町摩周3丁目867番地1
釧路圏摩周観光文化センター内

開設 令和3年6月21日

施設概要 延床面積 330.2 m²
更科源蔵文学資料館内
収蔵資料 1,453 点
(歴史写真 198 点、観光資料 559 点、
教育資料 119 点、
商業産業資料 223 点、生活資料 181 点、家電資料 173 点)



利用実績等	R 3		
利用者数	402 人		

※郷土資料収蔵庫でしかがの蔵事務所から移設し令和3年6月21日オープン

社会教育施設（４）

[弟子屈町営野球場]

所在地 弟子屈町美里 2 丁目 1 4 2 番 2 5

開設 昭和 3 4 年 1 0 月 3 0 日

施設概要 面積 10, 432. 00 m²

左翼 84. 0m

右翼 84. 0m

中堅 100. 0m



主要大会等 宇津木妙子 C U P 道東地区選抜野球弟子屈大会

利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	2, 203 人	695 人	568 人

[川湯屋内温水プール]

所在地 弟子屈町川湯温泉 3 丁目 3 0 5 番地

開設 昭和 5 5 年 3 月 3 1 日

施設概要 建物延面積 1, 473. 51 m²

一般コース 25m×13m 6 コース、
水深 1. 1m~1. 3m

幼児プール 18. 75×4m

水深 0. 6m



主要大会等 第 3 1 回弟子屈町民水泳競技大会兼記録会

利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	8, 582 人	5, 195 人	4, 220 人

社会教育施設（５）

[弟子屈町営スピードスケート場]

所在地 弟子屈町摩周4丁目867番2

開設 平成4年12月5日

施設概要 敷地面積 20,000.00 m²
一周 400mリンク、夜間照明設備
散水設備



主要大会等 弟子屈町小学生スピード
スケート記録会

利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	1,274 人	1,970 人	2,279 人

[桜ヶ丘歩くスキーコース]

所在地 弟子屈町桜丘2丁目61番1

開設 平成8年12月15日

施設概要 750mコース 3,000mコース
6,000mコース



その他 平成30年度に、コースの一部を利用し、
クロスカントリーコースを造成（1周2.1km）
（合宿チーム：東京国際大学、コニカミノルタ）

利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	130 人	137 人	175 人

社会教育施設（6）

[鑑別川河川敷パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町泉1丁目 河川敷

開設 平成5年8月19日

施設概要 ホール数 36H、距離 1,360m



利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	2,142 人	1,755 人	1,106 人

[900草原パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町字弟子屈418番地127

開設 平成9年5月13日

施設概要 ホール数 36H、距離 1,864m



利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	8,196 人	3,612 人	1,473 人

社会教育施設（7）

[川湯温泉パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町川湯温泉4丁目70

開設 平成6年8月25日

施設概要 ホール数 18H、距離 851m



利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	3,877人	4,210人	2,957人

[川湯駅前パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町川湯駅前2丁目25番地1

開設 平成9年8月

施設概要 ホール数 18H、距離 770m



利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	1,362人	777人	808人

社会教育施設（８）

[屈斜路パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町字屈斜路 2 2 8 番地 4

開設 平成 1 3 年 5 月

施設概要 ホール数 1 8 H、距離 826m



利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	1,555 人	928 人	446 人

[奥春別パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町字鑑別 2 7 2 番地 6

開設 平成 1 0 年 8 月 1 1 日

施設概要 ホール数 3 6 H、距離 1,615m



利用実績等	R 1	R 2	R 3
利用者数	1,565 人	1,054 人	894 人

1 1. 教育予算

(1) 令和4年度の一般会計当初予算

単位：千円、%

会 計 名		令和4年度	令和3年度	前年度比
一 般 会 計		14,109,000	12,491,000	12.95
特 別 ・ 企 業 会 計	国民健康保険特別会計	965,744	979,273	-1.38
	介護保険特別会計	960,154	968,641	-0.88
	後期高齢者医療特別会計	146,119	141,035	3.60
	温泉事業特別会計	84,612	73,758	14.72
	下水道事業特別会計	314,237	440,579	-28.68
	水道事業会計	281,726	295,809	-4.76
	計	2,752,592	2,899,095	-5.05
合 計		16,861,592	15,390,095	9.56

(2) 教育予算の推移

単位：千円、%

	一般会計	前年度比	教育費	前年度比	構成比
平成25年度	7,067,000		526,357		7.45
平成26年度	10,380,000	46.88	547,943	4.10	5.28
平成27年度	7,713,000	-25.69	540,340	-1.39	7.01
平成28年度	7,775,000	0.80	541,612	0.24	6.97
平成29年度	7,281,000	-6.35	520,149	-3.96	7.14
平成30年度	7,837,000	7.64	512,550	-1.46	6.54
平成31年度	7,835,000	-0.03	511,555	-0.19	6.53
令和2年度	8,486,000	8.31	574,139	12.23	6.77
令和3年度	12,491,000	47.20	588,488	2.50	4.71
令和4年度	14,109,000	12.95	577,340	-1.89	4.09

Ⅲ. 令和4年度の各施策と実施する主な事務事業

主な事務事業を第6次弟子屈町総合計画の区分ごとに記載しています。

4 育 豊かな心を育て、文化を大切にする ^{まち}夢づくり

【育一】 学び環境の充実

主要施策 1. 生きる力を育む学校教育の充実

予 算 額	財 源 内 訳			
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源
17,289.3	41.2	0.0	3,679.8	13,568.3

(単位:万円)

《重点事業 【継続】 公設塾運営事業》

予 算 額	2,465.4	担当課	教育委員会管理課
内 容	弟子屈高校の生徒を対象に、通年で学習塾を開設する。		
成 果 ・ 効 果	同校の学力向上を図り卒業後の進路選択の幅が拡大されることで、人材育成と高校の魅力向上により、弟子屈高校への進学者の増加につなげる。また、弟子屈高校の存続と地域の活性化、父母負担の軽減を図る。		

施策内の事務事業	予算額	主な実施内容	担当課
語学指導助手招致	1,066.4	外国語(英語)指導助手2人の報酬ほか	教委管理課
児童生徒学力指導	88.4	玉川大学との英語力向上連携ほか	教委管理課
高等学校活動支援	387.3	魅力ある弟子屈高校づくり、大学進学、就職取り組み支援ほか	教委管理課
小・中学校管理	7,690.0	町内4小学校、2中学校の管理費	教委管理課
小・中学校義務教育支援	3,175.5	学力検査等の費用、学校教材、図書購入、特別支援教育ほか	教委管理課
その他の事務事業	2,422.3	コミュニティ・スクール運営、学校備品整備ほか	教委管理課

主要施策 2. 学校教育環境の充実

予 算 額	財 源 内 訳			
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源
15,180.3	2.5	0.0	4,146.9	11,030.9

(単位:万円)

《重点事業 【継続】 給食無償提供事業》

予 算 額	1,468.9	担当課	学校給食センター
内 容	学校給食の無償提供により保護者の経済的負担を軽減し、児童生徒への給食費無償化を継続するとともに地場産食材を積極的に活用した給食の提供に努め、「地産地消」を推進する。		
成 果 ・ 効 果	地場産食材の提供による「食育」の指導内容の充実及び保護者の経済的負担の緩和。		

施策内の事務事業	予算額	主な実施内容	担当課
学校用バス運行	4,729.0	スクールバス運行、学校行事用臨時バス運行	教委管理課
小・中学校施設改修	2,204.9	弟小・川小受変電設備改修、美小屋体屋根防水塗装工事ほか	教委管理課
小・中学校父母負担軽減	126.4	新1年生への鍵盤ハーモニカ、防犯ブザーの進呈、学用品の負担軽減ほか	教委管理課
その他の事務事業	6,644.5	教職員住宅管理、老朽住宅解体、要保護・準要保護支援、学校給食センター管理	

【育-2】 生涯学習の推進と文化の継承

主要施策 1. 生涯学習のまちづくり

予 算 額	財 源 内 訳				(単位:万円)
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源	
7,856.0	31.5	300.0	1,010.4	6,514.1	
施策内の事務事業	予算額	主な実施内容			担当課
摩周観光文化センター管理	4,267.8	摩周観光文化センターの運営			摩周観光文化センター
図書館管理運営	1,482.9	図書館の運営、図書館バスの運行、読書活動推進事業			社会教育課
公民館管理運営	1,357.2	公民館管理運営、公民館事業ほか			公民館
生涯学習推進	641.9	生涯学習講演会の実施、学びの機会や環境の整備、生涯学習バスの運行			社会教育課
その他の事務事業	106.2	社会教育活動一般ほか			社会教育課

主要施策 2. 青少年の健全育成

予 算 額	財 源 内 訳				(単位:万円)
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源	
106.1	0.0	0.0	0.0	106.1	
施策内の事務事業	予算額	主な実施内容			担当課
人材育成	106.1	青少年健全育成事業補助、二十歳のつどい祝賀会運営事業補助			社会教育課

主要施策 3. 生涯スポーツの推進

予 算 額	財 源 内 訳				(単位:万円)
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源	
3,815.5	0.0	200.0	326.7	3,288.8	
施策内の事務事業	予算額	主な実施内容			担当課
スポーツ活動推進	250.5	スポーツ賞の贈呈、スポーツ教室、学校開放事業			社会教育課
スポーツ振興助成	200.0	全道・全国大会に出場する町民に経費の一部を助成			社会教育課
スポーツ合宿誘致	164.3	東京国際大学・立教大学・北海道栄高校駅伝部の合宿誘致			社会教育課
その他の事務事業	3,200.7	スポーツ大会の運営と支援、体育施設管理、町営プール管理運営ほか			社会教育課

主要施策 4. 文化・芸術の継承

予 算 額	財 源 内 訳				(単位:万円)
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源	
134.8	0.0	0.0	20.0	114.8	
施策内の事務事業	予算額	主な実施内容			担当課
芸術文化活動	134.8	芸術鑑賞機会の確保、芸術関係団体への補助			社会教育課

主要施策 5. 文化財の適切な保全と活用

予 算 額	財 源 内 訳				(単位:万円)
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源	
970.0	0.0	0.0	495.4	474.6	
施策内の事務事業	予算額	主な実施内容			担当課
アイヌ民族資料館管理	707.9	アイヌ民族資料館の運営			社会教育課
文化財保護活動	81.9	文化財保護、団体補助			社会教育課
その他の事務事業	180.2	アイヌ文化等振興計画、アイヌ振興、郷土資料管理			

令和4年度教育委員会重点予算

(単位：千円)

項	目	事業名	主な事業	予算額	内容	備考		
教育総務費	事務局費	003	教育振興一般	教育振興一般	4,903	ロイロノートライセンス料・幼保小中高連携事業費用弁償、学校ICT支援業務、管内教育支援委員会等各団体負担金ほか	新規=ロイノ ート	
		004	児童生徒生活指導	児童生徒指導活動事業	60	生指導連絡協議会の交付金		
		005	児童生徒学力指導	児童生徒学力指導事業	884	中体連ほか負担金、教育研究指定校、学力向上研修事業、英語力向上連携事業ほか交付金		
		006	学校用バス運行	スクールバス運行事業	47,290	スクールバス運行業務（美留和・奥春別・南弟子屈・仁多原野・和琴・川湯駅前・川湯）、運行補助業務（悪天候時の補助員乗車）、行事バス		
		007	姉妹都市中学生交流	姉妹都市中学生交流事業	1,000	姉妹都市中学生交流事業補助（派遣）		
		008	高等学校活動支援	弟子屈高等学校活動支援事業	3,973	高校通学費補助金、学校行事支援事業補助金（強歩遠足、弟子屈探究ほか）		
				公設塾設置運営事業	24,654	公設民営塾の委託（通年開催）		
		010	コミュニティスクール運営	コミュニティスクール運営事業	469	委員報酬、費用弁償（各校3回分）		
		財産管理費	001	教職員住宅管理	教職員住宅管理	1,439	住宅修繕ほか	
					老朽住宅解体	2,565	泉1戸	
	学校保健費	001	児童生徒教職員保健業務	児童生徒保健業務、教職員保健業務	3,162	学校医他報酬、教職員健康診断業務委託料、児童生徒健康診断業務委託料、思春期講座ほか		
	教育研究所費	001	教育研究所運営	教育研究所運営事業	540	教育研究所交付金、運営委員報酬		
小学校費	学校管理費	001	小学校管理	小学校管理運営	45,779	町内小学校4校に係る施設・設備維持管理、備品購入、消耗品、事務生・公務補ほか		
		002	小学校施設改修	学校施設改修事業	20,927	遊具等点検修理業務、川小床清掃業務、弟小・川小受電設備改修工事、美小屋体防水改修工事	新規=各 工事等	
		003	学校備品等整備更新	学校備品等整備更新	1,688	ワイヤレスマイク（弟小・川小・和小）、除雪機	新規	
		004	小学校環境改善	小学校環境改善	1,705	和小グラウンド立木伐採業務	新規	
	教育振興費	001	小学校義務教育支援	教育支援事業	5,293	交通指導員、標準学力調査、学校学級適応調査、学習テスト等教材、児童用新聞、学校図書、教材備品ほか	増額=学 校図書	
				ふるさと教育	200	ふるさと教育講師報償費（各校10回分）	倍増	
				特別支援教育	26,216	支援員（7人）、就学奨励費	支援員1 名増員	
		002	小学校父母負担軽減	父母負担軽減事業	842	新入学児童祝品（鍵盤ハーモニカ、防犯ブザー）、教材費等の父母負担軽減（2,200円/人）	増額=父 母負担	
		003	要保護準要保護児童援助	要保護準要保護児童支援事業	5,073	要保護2人・準要保護児童62人見込。新入学用品費の前倒し、PTA会費、卒業アルバム代等		
		003	中学校管理	中学校管理運営	31,755	町内中学校2校に係る施設・設備維持管理、備品購入、消耗品、事務生・公務補ほか		
中学校費	学校管理費	003	中学校施設改修	学校施設改修事業	1,122	弟中体育館床清掃・川中トイレ洋式化工事	新規=各 工事	
		教育振興費	001	中学校義務教育支援	義務教育支援一般	2,570	標準学力調査、学校学級適応調査、学習テスト等教材、生徒用新聞、学校図書、教材備品、ほか	増額=学 校図書
	ふるさと教育				191	ふるさと教育報償費（各校8回）、摩周焼き体験学習	ふるさと教 育倍増	
	心の教室				1,008	相談員報酬、費用弁償		
	特別支援教育				7,770	支援員（2人）、就学奨励費		
	002	中学校父母負担軽減	父母負担軽減事業	422	教材費等の父母負担軽減（2,200円/人）ほか	増額=父 母負担		
	003	要保護準要保護生徒援助	要保護準要保護生徒支援事業	4,505	要保護0人・準要保護生徒37人見込み。新入学用品費の前倒し、PTA会費・生徒会費・クラブ費等			

令和4年度 教育委員会重点予算

(単位：千円)

項	目	事業名	主な事業	予算額	内容	備考		
社会教育費	社会教育総務費	002	生涯学習推進	生涯学習講演会	200	講師(釧P連・女性のつどい)		
				生涯学習バス運行	5,916	運行業務委託		
		003	芸術文化活動	芸術鑑賞	519	小中高合同芸術鑑賞事業、幼児芸術鑑賞会		
				文化振興助成	200	全道全国大会出場助成		
				総合文化祭	370	弟子屈町総合文化祭実行委員会(春の芸能発表会開催)	拡充	
				文化芸術団体活動	50	川湯ばやし保存会(活動補助)		
		005	人材育成	二十歳のつどい	453	式典設営及び運営経費・祝賀会	改称	
				弟子屈町PTA連合会補助	120	弟子屈町連合父母と先生の会		
				青少年健全育成	少年の主張弟子屈大会	52		
					海の子山の子ふるさと交流事業(白糠・弟子屈)	7		
		子ども映画会	10					
		おこと教室	16					
		007	学校支援地域本部	教育支援活動	てしかが子どもクラブ	113		
					青少年健全育成(未来こども協議会)事業	200		
					地域学校協働本部・家庭教育冊子ほか			
公民館費	001	公民館管理運営	弟子屈町民大学校 外	1,280	各種主催講座			
文化財保護費	001	文化財保護活動	郷土芸能保存	260	鑑別獅子舞保存会 130 仁多獅子舞保存会 130			
資料館管理費	001	アイヌ民族資料館管理	アイヌ民族資料館管理	6,599	会計年度任用職員報酬、施設維持費ほか			
			アイヌ民族資料館利用促進事業	202	体験講座消耗品費ほか			
			アイヌ民族資料館40周年記念事業	278	記念講演謝金、来場者記念品ほか			
保健体育費	保健体育総務費	001	スポーツ活動推進	文化・スポーツ少年団活動	600	文化・スポーツ少年団 16団体		
				町民スポーツ普及活動	571	スポーツ協会 20団体		
				少年スポーツ教室支援	少年野球教室(町外開催分)	50		
					少年サッカー教室	100		
		002	スポーツ大会の運営と支援	スポーツ大会等	陸上教室	100		
					学校施設開放	249	学校開放事業(4校)開放主事・管理人	
		004	スポーツ振興助成	スポーツ振興助成	屈斜路湖オープンウォータ水泳大会、道東野球大会、古希道東地区選手権大会、美羅尾山ろく完走マラソン大会ほか	500		拡充
					全道全国大会出場助成	2,000		
		体育施設費	001	体育施設管理運営	施設管理運営	町営球場	99	
						修武館	1,724	
001	川湯温水プール	川湯温水プール管理運営	プール管理運営	町営スピードスケート場	2,193			
				桜ヶ丘歩くスキーコース	149			
001	川湯温水プール	川湯温水プール管理運営	プール管理運営	桜ヶ丘クロスカントリーコース整備	42			
				パークゴルフ場	7,735			
001	川湯温水プール	川湯温水プール管理運営	管理運営費	19,385				
社会教育費	図書館管理費	001	図書館管理運営	図書購入費	2,403	一般図書、児童書、新聞雑誌類		
				子ども読書活動推進	120	読書講演会、読書感想文コンクールほか		
				移動図書館	708	図書館バスの運行		
				図書館システム	1,179	図書館システム導入償還金		
				学校図書館連携	507	学校図書館システム使用料		
保健体育費	給食センター費	001	給食センター	学校給食センター管理運営	管理運営費	45,656		
					給食配送運行業務	7,075		
					電気貯湯槽清掃点検業務	198		
					学校給食費補助金	14,689		

12. 児童・生徒数の変遷(平成元年～令和4年)

年度	小 学 校									中 学 校			小中	高 校	幼稚園
	弟子屈	川 湯	和 琴	美留和	川 湯 駅 前	奥春別	昭 栄	仁 多	計	弟子屈	川 湯	計	合計	道立弟子 屈高校	学法摩周 丘幼稚園
元	663	148	38	23	14	23	15	14	938	412	93	505	1,443	361	
2	636	130	30	23	11	26	13	11	880	415	83	498	1,378	361	
3	601	124	32	26	H3閉校	24	9	9	825	390	74	464	1,289	366	
4	538	111	31	34	—	23	11	10	758	397	72	426	1,227	352	
5	530	103	29	34	—	19	12	5	792	362	64	425	1,158	334	
6	488	91	22	37	—	18	9	H6閉校	665	353	72	394	1,090	301	
7	463	77	23	38	—	16	10	—	627	334	72	406	1,033	303	新学校法 人設置
8	431	83	25	34	—	14	10	—	597	332	62	394	991	289	69
9	419	81	21	29	—	13	10	—	573	310	49	359	932	296	62
10	418	88	20	24	—	15	12	—	577	279	34	313	890	278	61
11	397	86	19	22	—	16	14	—	554	257	35	292	846	281	76
12	376	81	22	15	—	16	13	—	523	240	42	282	805	259	93
13	368	66	21	10	—	20	16	—	501	238	40	278	779	229	100
14	367	62	20	11	—	19	14	—	493	224	43	267	760	209	105
15	349	64	20	12	—	19	14	—	478	223	36	259	737	193	105
16	336	60	19	16	—	17	14	—	462	225	34	259	921	201	105
17	341	55	19	17	—	16	13	—	461	216	26	242	703	193	83
18	354	53	17	16	—	15	13	—	468	198	29	227	695	190	72
19	339	51	17	19	—	13	10	—	449	198	27	225	674	181	85
20	328	50	16	18	—	13	10	—	435	196	29	225	660	183	88
21	323	50	14	13	—	14	8	—	422	210	23	233	655	177	94
22	321	41	13	9	—	17	6	—	407	195	26	221	628	173	88
23	304	38	11	9	—	20	5	—	387	193	24	217	604	175	92
24	285	37	13	13	—	20	6	—	374	184	24	208	582	174	89
25	285	39	9	7	—	20	5	—	365	175	19	194	559	158	93
26	273	37	11	13	—	22	5	—	361	163	15	178	539	158	77
27	273	46	11	14	—	21	H27閉校	—	365	156	20	176	541	148	60
28	240	43	12	13	—	18	—	—	326	164	16	180	506	140	61
29	226	47	13	12	—	21	—	—	319	152	16	168	487	124	67
30	218	45	12	8	—	19	—	—	302	146	13	159	461	105	55
令和	弟子屈	川 湯	和 琴	美留和	川 湯 駅 前	奥春別	昭 栄	仁 多	計	弟子屈	川 湯	計	合計	道立弟子 屈高校	認定こども 園まじゅう
元	204	53	11	10	—	17	—	—	295	130	15	145	440	94	139
2	197	49	6	8	—	16	—	—	276	135	15	150	426	78	119
3	196	38	7	8	—	R3閉校	—	—	249	139	25	164	413	75	114
4	188	44	9	8	—	—	—	—	249	126	22	148	397	72	106

13. 文化財等

(1) 国指定

指 定	所在地	管理者	指定年月日	概 要
和琴ミンミンゼミ発生地	和琴	町	昭和26年 6月 9日	天然記念物 333,440㎡
アイヌ古式舞踊	屈斜路古丹	保存会	平成 6年12月21日	重要無形民俗文化財
釧路川流域チャン跡群	町内4箇所	土地所有者	平成27年 3月17日	特別史跡名勝天然記念物・史跡名勝天然記念物

(2) 北海道指定

指 定	所在地	管理者	指定年月日	概 要
弟子屈小学校のハルニレ・カエデ	弟子屈	町	昭和49年 3月30日	記念保護樹木
川湯小学校のハルニレ	川湯	町	平成15年 9月30日	記念保護樹木
川湯神社のミズナラ	川湯	川湯神社	平成15年 9月30日	記念保護樹木

(3) 弟子屈町指定

指 定	所在地	管理者	指定年月日	概 要
屈斜路マリゴケ	屈斜路	町	昭和44年 7月11日	天然記念物屈斜路湖一円
鑑別獅子舞	鑑別	保存会	昭和46年 7月31日	無形文化財 明治32年富山県射水地方より伝承
仁多獅子舞	仁多	保存会	昭和46年 7月31日	無形文化財 明治32年富山県砺波地方より伝承

(4) 埋蔵文化財

登録番号	遺 跡 名 称	種別	時代	登録番号	遺 跡 名 称	種別	時代
1	鑑別遺跡	住居跡	擦文	26	ピラオ第1遺跡	遺物包含地	不明
2	熊牛B遺跡	住居跡	不明	27	ピラオ第2遺跡	遺物包含地	不明
3	熊牛A遺跡	住居跡	縄文	28	弟子屈中学校校庭遺跡	遺物包含地	不明
4	丸山西遺跡	遺物包含地	縄文・擦文	29	下鑑別遺跡	集落跡	擦文・オホーツク
5	クツチャロシペ第1チャン跡	チャン跡	アイヌ	30	泉ヶ丘遺跡	遺物包含地	続縄文
6	札友内53線遺跡	遺物包含地	縄文	31	星川遺跡	集落跡	縄文中期
7	ポント第1遺跡	遺物包含地	縄文	32	サンベコタンチャン跡	チャン跡	アイヌ
8	弟子屈小学校遺跡	遺物包含地	縄文中期	33	熊牛チャン跡	チャン跡	アイヌ
9	弟子屈高校遺跡	遺物包含地	縄文	34	クツチャロシペ第2チャン跡	チャン跡	アイヌ
10	下仁多遺跡	遺物包含地	縄文・擦文	35	伊藤遺跡	遺物包含地	縄文
11	広本遺跡	遺物包含地	不明	36	西郷第2遺跡	遺物包含地	擦文
12	昭栄小学校遺跡	住居跡	縄文中期	37	池田遺跡	集落跡	擦文
13	矢沢遺跡	遺物包含地	縄文中期・続縄文・擦文・アイヌ	38	ピラクニ第2遺跡	集落跡	不明
14	ピラクニチャン跡	チャン跡	アイヌ	39	ピラクニ第1遺跡	遺物包含地	不明
15	ヌプバシュナイ第1チャン	チャン跡	アイヌ	40	ルイラン第1遺跡	集落跡	不明
16	ヌプバシュナイ第2チャン	チャン跡	アイヌ	41	ルイラン第2遺跡	集落跡	擦文
17	屈斜路古丹遺跡	墳墓	縄文早期・中期	42	ヌプバシュナイ第2遺跡	遺物包含地	不明
18	エントコマップ第2遺跡	遺物包含地	縄文中期	43	熊牛C遺跡	集落跡	続縄文・擦文
19	エントコマップ第1遺跡	遺物包含地	縄文中期	44	西郷第1遺跡	集落跡	縄文
20	ポント第2遺跡	遺物包含地	縄文中期	45	西郷第3遺跡	集落跡	不明
21	渡辺遺跡	遺物包含地	縄文中期	46	サンベコタン第1遺跡	遺物包含地	縄文中期・後期
22	後藤遺跡	遺物包含地	縄文中期	47	美留和第3遺跡	遺物包含地	縄文後期
23	美留和第1遺跡	遺物包含地	縄文中期	48	ニタトロマップ遺跡	遺物包含地	縄文
24	美留和第2遺跡	遺物包含地	不明	49	ウランコウシチャン跡	チャン跡	アイヌ
25	ヌプリオンド遺跡	遺物包含地	縄文・続縄文	50	丸山東遺跡	遺物包含地	縄文後期

14. 審議会等

(1) 管理課・指導室・給食センター所管の審議会等（委員定数）

- ①弟子屈町奨学審議会（10名）
- ②弟子屈町教育研究所運営協議会（10名）
- ③弟子屈町学校給食センター運営委員会（14名以内）
- ④弟子屈町学校運営協議会（各学校5名以内、弟小中は10名以内）

(2) 社会教育課所管の審議会等（委員定数）

- ①弟子屈町社会教育委員の会兼弟子屈町公民館運営審議会（12名）
- ②弟子屈町文化賞審議会（10名以内）
- ③弟子屈町文化財専門委員会（若干名）
- ④弟子屈町教育支援活動運営委員会（定数なし）
- ⑤弟子屈町スポーツ振興審議会（10名以内）
- ⑥弟子屈町スポーツ推進委員（20名以内）

15. 関係機関団体等

(1) 学校関係団体

- ①弟子屈町教育研究所
- ②弟子屈町公立学校進路指導連絡協議会
- ③弟子屈町学校保健協議会
- ④弟子屈町へき地複式連絡協議会
- ⑤弟子屈町特別支援教育推進会議
- ⑥弟子屈町子どもサポート隊
- ⑦弟子屈町生徒指導連絡協議会
- ⑧弟子屈町中学校体育連盟
- ⑨弟子屈町小中高連携会議
- ⑩弟子屈町校長会
- ⑪弟子屈町教頭会
- ⑫弟子屈町イングリッシュキャンプ実行委員会

(2) 社会教育関係団体

- ①弟子屈町文化協会
- ②絵本の会おはなしはらっぱ
- ③弟子屈町未来こども協議会
- ④弟子屈町スポーツ協会
- ⑤弟子屈町文化・スポーツ少年団本部
- ⑥弟子屈町連合父母と先生の会
- ⑦ユースフルネットワークてしかが
- ⑧弟子屈町女性団体協議会
- ⑨てしかが郷土研究会
- ⑩弟子屈町子ども読書活動推進会議
- ⑪屈斜路古丹アイヌ文化保存会
- ⑫弟子屈町生涯学習推進本部
- ⑬鑑別獅子舞保存会
- ⑭川湯ばやし保存会
- ⑮弟子屈町総合文化祭実行委員会
- ⑯弟子屈町学校開放協議会
- ⑰仁多獅子舞保存会
- ⑱弟子屈町地域学校協働本部

16. 主な団体構成

(1) 弟子屈町文化協会構成

加盟団体	会員	加盟団体	会員	加盟団体	会員
香墨習字勉強会	16	弟子屈摩周湖民踊会	6	川湯ばやし保存会	51
摩周多夢窯	12	しらかば合唱会	15	アイランドバトンクラブ	29
生田流琴友会	11	川上シンフォニアウインドアンサンブル	14	清流吟詠会	5
聖月流川湯支部	9	摩周歌謡カラオケクラブ	8		
舞踊華	5	日本民謡三絃渡邊孝帆会	21	13団体・202人	

(2) 弟子屈町スポーツ協会構成

加盟団体	会員	加盟団体	会員	加盟団体	会員
ソフトボール協会	14	卓球協会	10	サイクリング協会	12
バレーボール協会	24	ゲートボール協会	15	パークゴルフ協会	93
軟式野球連盟	52	柔道協会	27	ソフトバレーボール協会	40
スキー協会	21	バドミントン協会	15	セーリング協会	8
ソフトテニス協会	22	空手協会	17	摩周山岳協会	28
スケート協会	10	バスケットボール協会	12	テニス同好会	37
剣道同好会	10	水泳協会	32	20団体・499人	

(3) 弟子屈町文化・スポーツ少年団本部構成

加盟団体	会員	加盟団体	会員	加盟団体	会員
摩周空手道	9	弟子屈スピードスケート	16	卓球	12
弟子屈剣道	10	弟子屈バレーボール	15	弟子屈柔道	9
I&Mバトンスタジオ	22	KAWAYU	25	弟子屈バスケットボール	12
弟子屈陸上	5	摩周サッカー	30	川湯ダンスクラブ	21
弟子屈ソフトテニス	17	弟子屈RC	14		
摩周ジャガーズ	16	弟子屈吹奏楽	10	16団体・243人	

17. 弟子屈町教育の特徴

(1) 弟子屈町教育委員会

- ①弟子屈町教育委員会ホームページでの情報提供
(弟子屈町教育委員会事務事業の紹介・定例等教育委員会議事内容の公表・学校給食センター献立等の公表・社会教育施設活動等の紹介・各小中学校ホームページとのリンク等)
- ②「教育委員コラム」及び「教育長日記」の作成及び公表
- ③「移動教育委員会」の実施
- ④「弟子屈町総合教育会議」の設置
- ⑤「弟子屈町教育振興計画」の策定と年次改訂(平成25年度～令和4年度)、「弟子屈町教育大綱」と兼ねる

(2) 学校教育

- ①「弟子屈町奨学資金貸付」の実施
- ②「心の教室相談員」の配置(町単独1名)
- ③「スクールカウンセラー」の配置(北海道教育委員会1名)
- ④「外国語指導助手」の配置(町単独2名)
- ⑤「指導方法工夫改善」等の教員加配(弟子屈小1名/弟子屈中1名)
- ⑥「弟子屈町教育委員会研究指定校」制度(和琴小/美留和小/弟子屈中・交付金)
- ⑦「弟子屈町教育研究所研究協力指定校」制度(美留和小・町研補助)
- ⑧道教委指定「北海道ふるさと教育・観光教育推進事業(アイヌ文化)」(和琴小学校)
- ⑨「へき地2校集合学習」実施(和琴小/美留和小・交付金)
- ⑩「郷土学習シリーズ」作成発行(平成17年度～平成24年度終了・8小中学校の取組)
- ⑪「弟子屈町子どもサポート隊」の設置(子ども安全見守り隊・町民63名自主登録)
- ⑫「北海道弟子屈高等学校」への支援事業
(学習支援・強歩遠足事業支援・町外国語指導助手の派遣支援・修学旅行費用の一部支援・公民館と高等学校との連携講座開設等)
- ⑬「公設民営塾」の開設(講習会の通年化)
- ⑭「小学校・中学校・高等学校」との連携事業等
(弟子屈町公立学校長連携会議[小中高等学校長]・吹奏楽連携[弟子屈小/弟子屈中/高等学校]・部活動連携[弟子屈中/高等学校]・道教委指定:「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」[弟子屈小/弟子屈中/高等学校])
- ⑮小中学校児童生徒の学校給食費の無償化(令和3年度～)
- ⑯特認校制度の実施(令和3年度～、美留和小)

(3) 社会教育

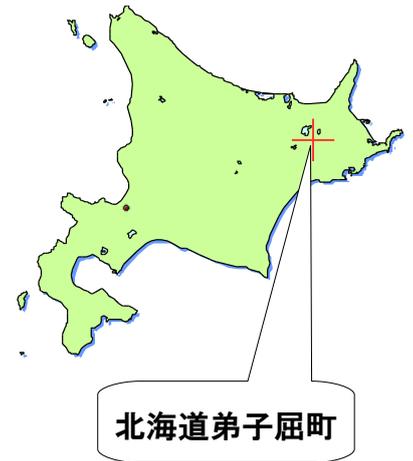
- ①「第8次弟子屈町社会教育中期計画」の樹立(令和4年度～令和7年度)
- ②「第3次弟子屈町子ども読書活動推進計画」の樹立(令和3年度～令和7年度)
- ③「全国・全道規模のスポーツ関連大会出場」への支援(対象経費の選手80%引率100%補助)
- ④「全国・全道規模の文化関連大会出場」への支援(対象経費の70～80%引率100%補助)
- ⑤「総合型地域スポーツクラブ 摩周ふれあいスポーツクラブ」の創設
- ⑥「弟子屈町郷土資料館「蔵」(仮称)」の設置
- ⑦「屈斜路コタンアイヌ民族資料館」の設置
- ⑧「更科源藏文学資料館」の設置
- ⑨「文化賞」「スポーツ賞」の実施
- ⑩「青少年健全育成事業」の実施
- ⑪「少年の主張弟子屈町大会」「摩周おこと教室」「てしかが子どもクラブ」の開催、未来こども協議会への支援等
- ⑫公民館「ふるさと講座」開設
- ⑬「公民館ミニコンサート」の開催
- ⑭「公民館ロビー展」の通年開催
- ⑮「芸術鑑賞バス事業」の実施(他市町村で開催する芸術文化事業への参加)
- ⑯「図書館バス」の運行
- ⑰「図書館と学校との連携」による図書館システムの導入(図書館と6小中学校との接続等)
- ⑱「弟子屈町民大学校」の開設及び「学知賞」授賞制度導入
- ⑲「生涯学習講演会」の開催(年2回)
- ⑳「ニュースポーツ教室」の開催
- ㉑「美羅尾山ろく完走マラソン」の開催
- ㉒「摩周ウォークラリーゲーム」の開催
- ㉓「水泳教室」の通年開催、「町民水泳大会兼記録会」の開催

※順不同

18. 教育関係施設位置図

(1) 全町図





摩周湖といで湯のロマン弟子屈町

令和4年度弟子屈町の教育

令和4年6月

発行 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号
弟子屈町教育委員会

電話 015-482-2945(管理課・指導室)
015-482-2948(社会教育課)

URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp>